

ノハラボ高槻



里山に行くと、思い出すこと。



里山に行くと、思い出すこと。
それは、
やっぱり高槻が好き、だということ。



ノハラボテキスト

発行／NPO 法人ノート

事務局／大阪府高槻市城西町5-3
TEL&FAX／072-672-5173
e-mail:info@npo-note.com
<http://npo-note.com>
[@nohalabo](https://twitter.com/nohalabo)
[facebook／ノハラボ高槻](https://facebook.com/nohalabotakao)

編集・デザイン／平井 和哉(0.1knot)

※今後、NPO法人ノートでは、
高槻市北部地域に伝わる伝統文化の活性化に向けて、
その価値の多面的な発信や、
地域資源を活かしたまちづくりに取り組みます。
詳しくは上記ホームページ等をご覧ください。

この冊子は、文化庁の委託事業
「平成23年度文化庁文化遺産を活かした
観光振興・地域活性化事業」
の一環として作成しています。
平成24年3月発行



あなたは住んでいる街のこと
を知っていますか?
昔話、伝説、お寺、神社、山、
川、森もづくり。
あなたは生活の恵みを知つて
いますか?
ロバスな食生活、野菜づくり、
山菜採り、野草採り、魚釣り。
TVやネットではわからない、
そこでしかできないこと。

誰かに聞かないとわからないこ
と。
昔では当たり前だったことを
見つけてみませんか？そこには
必ず「人」がいます。
大阪と京都の真ん中にある、
私たちの街「高槻」。高槻には子
どもから大人まで学べる場があ
ります。

ここで地域の人とつながりが
生まれます。
ここでは地域のみんなが先生に
なります。大人から子どもへ、子
どもから大人へ、教えあいの場と
なっていきます。
高槻の知らないことを発見し
よう！高槻の知っていることを
みんなに教えよう！
「ノハラボ高槻」は、住んでいる

街のことを学びあう場、人とつな
がれる場づくりを目指します。
もっと高槻のことを知つて欲しい。
い。高槻を知るプロになって欲し
い。そして、住んでいる街のことを
いつしょに考えて欲しい。
私たち「ノハラボ高槻」の願いで
す。

ところで
ノハラボ高槻つて、
何ですか？





mission 1

子どもたちと
地域の人や文化を
結びつけます。

子どもたちが暮らしている高
槻のことを知るために、地域に残
されている宝物（歴史や伝統産
業など）を題材にして調査、学習
しそのことを多くの人に伝える
までの一連のプロセスを教育プログ
ラムとして開発しました。プログ
ラムの主人公は子どもたち。「生
きた体験」を通して地域のこと
を理解していくことを目的とし
ています。

また、教育・総合学習指導のブ
ロの講師による子どもたちへの講
義をスタッフが学び子どもたち
との関わり方や指導法などを理
解する場として情報を共有しま
した。

寒天教育プログラム & 模擬店の出店。

EVENT REPORT

■目的

- 子どもとスタッフが、文化遺産を生かしたプログラムを実施するため、本地域の寒天等の歴史を学ぶ。
- 文化遺産の知識を学ぶだけでなく、寒天スイーツ作り、および寒天スイーツを紹介するためのポップづくりを通して、文化遺産を体験として身に付ける。
- 学んだことを人に伝える・教える機会を通して、学んだ知識を確かにするとともに、文化遺産を伝える人材を育成する。

■開催日時

第1回シリーズ

- ①寒天アカデミー（スタッフ育成） 2011年10月1日（土） 9時～12時
- ②寒天スイーツ作りに挑戦！ 2011年10月9日（日） 9時15分～14時
- ③子ども寒天ショップ 2011年10月10日（月・祝） 10時～12時

第2回シリーズ

- ①寒天アカデミー 2012年2月5日（日） 9時～14時
- ②子ども寒天ショップ 2012年2月25日（土） 9時30分～15時

高槻の寒天～高槻で製法が確立された～

寒天は1685年（貞享2年）京都の伏見で偶然生まれた「ところんの乾物」がはじまりで、その後、高槻（旧清水村）の宮田半平によって改良され全国、世界へ広まっていきました。食糧として飢餓を救い、医学にも貢献しました。

自分たちで
寒天を
作ってみたよ！
いろんな味ができる
おもしろかった！

いろんな形にも
挑戦してみました。
買ってもらえるために
どうしたら良いのか
一生懸命考えたよ

ショップ当日は
お店の外に出て
いろんな人に
試食してもらったよ。
喜んでくれる人が
多かった！



お店で売るための
ポップ作りも
教えてもらったよ！
僕たちなりに
工夫をしてみました



高槻市外の方にも
高槻の良さを
知つていただきたい。

■目的

- 「コンパ」という若者になじみのあるイベントを切り口として、若者がなじみの薄い地域の文化遺産に興味を持つきっかけを作る。
- 今後、地域の文化遺産を活用した新たなノハラボスクール(仮称)のプログラムを検討する上で、講師の担い手となる人材、リビーターとなる参加者を掘り起こす。

■開催日時

- ①里山コンパモニター調査 2011年11月27日(日) 9時～16時
 ※協力：武庫川女子大学 藤本ゼミ
 ②里山コンパ 2012年1月29日(日) 9時45分～16時30分

畑で野菜の収穫体験



地元の名人を先生に、おはぎ作り



収穫した野菜を、お鍋用に切っていく



地元で獲れた猪肉を使ったボタン鍋



参加者の感想

- 野菜の収穫は普段経験していないので、よい経験ができた。紅葉がキレイな時期だったのですごく良かったです。どの料理もすごくおいしくて、おみやげまでもらえて大満足でした。ごはんがすごくおいしくて、高槻でもお米が有名ということに驚きました。
- 野菜の種や、苗植えから収穫までの体験などもおもしろそう。もう少し早い時間に集合して、内容を濃くしても良い気はします(ちょっとの体験なので)。でも楽しかったです。
- 高槻ならでは、もしくはこれからならではにしていくものを今回のような企画以外でも「また来たい」もしくは「次は個人で来てみようか」という場合の手段も紹介していただけると、一層この企画をきっかけとして高槻の産業を広めやすいのです。

野菜を使ったカクテルの試飲＆体験



高槻里山コンパの開催。

EVENT REPORT

高槻のことをあまり知らない若者を対象に、北部地域に残されている自然や文化財を活かした体験型観光プログラムとして企画しました。「非日常的な生活スタイルの提案」をコンセプトとして、畑へ行って野菜を収穫し農家さんから野菜のおいしい食べ方を学ぶなど、昔から続いていることに触れることで生活の知恵が習得できることをねらいとしています。

当日は江戸時代から残る旧造り酒屋で、参加者が収穫した野菜を使って料理し、地元の農家さんから代々受け継がれているおはぎの作り方を学び、交流を深めました。



■目的

- 地域の文化遺産や農業に関心のある小さな子どもに加えて、子どもの親を活動に巻き込み、文化遺産活用の裾野を拡大する。
- 子どもの親に参加いただくプログラムを実施することで、子どもが参加する活動への理解を促し、継続的に子どもが文化遺産活動に参加しやすい環境を構築する。
- 子ども寒天ショップに参加した子どもが講師(=文化遺産活用の担い手)となり、本プログラムの参加者である親子に対して講義する場を設定することで、講師となる子どもたちが文化遺産に対してさらに理解を深めることを促す。

■開催日時

2012年3月10日(土) 9時~16時

EVENT REPORT

親子かんてん教室& ジャガイモの植付け体験。

地域の大人からの学び



全員で自己紹介



学びの連鎖

親子で触れ合う学び



子どもから子どもに伝える学び



教えた子どもたちの感想

- さいしょ発表するとき、きんちょうしたけど、たのしかった。
- きんちょうしたし、寒天のよさをしってもらってうれしかった。
- みんなと仲良くなれた。楽しかった。
- きんちょうした。子ども(参加者)が答えてくれたのがうれしかった(寒天クイズの時)
- 作り方の説明をするのがむずかしかった。もっとうまく伝えられるようになりたい!

参加した大人たちの感想

- 寒天についての知識を教えてもらえて意外にためになりました。
- 高槻寒天の話は聞いていたのですが、実際に食べたことがなかったので良い体験しました。
- 子どもたちの発表もとても良かった。
- ふつうの子どもと違って、活動に楽しんで参加している様子が子どもたちからの発表で伝わりました。
- 収穫の時の成長が樂しみです。

NOHA
LABO

mission 3

親と子と、そして
子どもたち同士の申て
て
遊びが広がります。

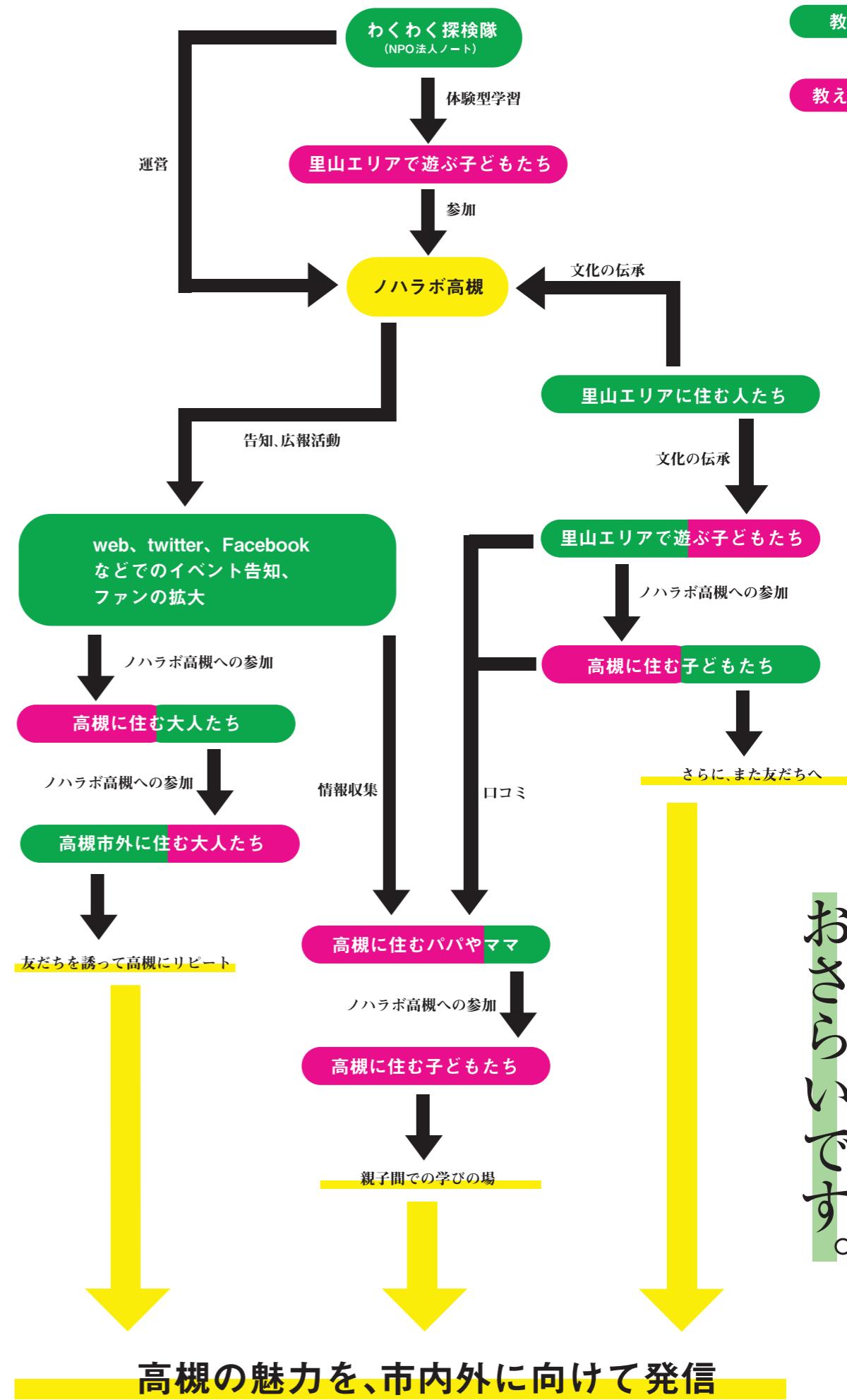
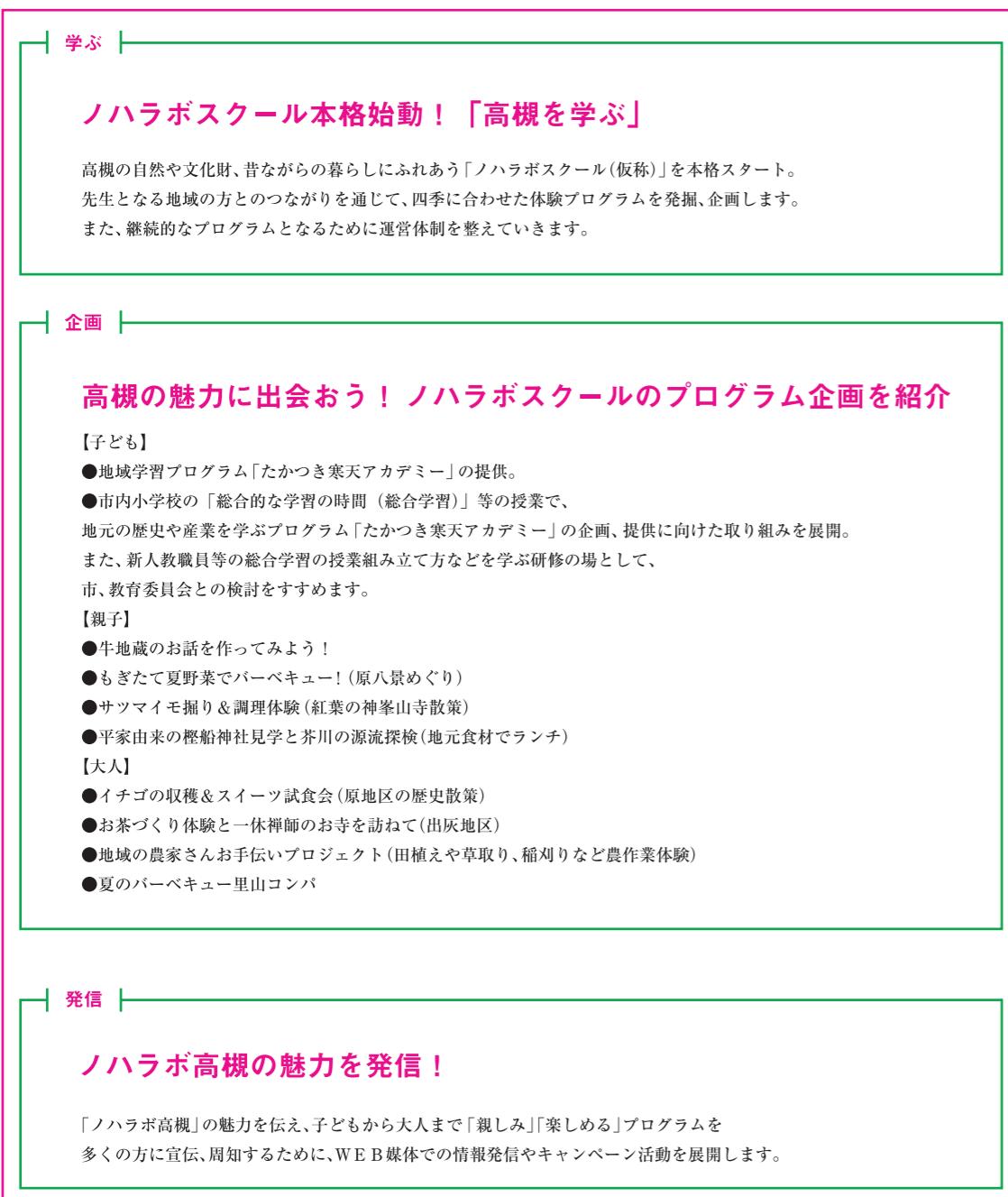
園児や児童(小学校低学年)
とその親を対象とした親子プロ
グラムでは、親子で同じことを体
験してもらうことを「コンセプトと
して、里山を歩いたり土に触れた
りといった、五感を活かしたプロ
グラムを企画しました。また他の
参加者との交流を通じて、これ
まで見えなかつた子どもの成長
を親が発見できたりすることを
ねらいとしています。
当日は「子ども寒天ショップ」に
参加した子どもたちが先生役と
なり学習したことを発表。参加
者へ高槻で寒天が作られるよう
になつたことを紹介しました。



教える側

教えられる側

ノハラボ高槻の
今後の目標は
こんな感じです。



考え方についての
おさらいです。

